

苫小牧市長 岩倉 博文 様

「苫小牧版図柄入り新ナンバープレート」の導入について

苫小牧市を中心とした東胆振圏は、日高地域を含む広域経済圏として進展を続け、東北以北最大の政令都市札幌市にも近く、北海道経済の活性化の一翼を担う重要な地域として発展しており、その地域発展の牽引力の一つとして、当地域が国際空港と国際港湾のダブルポートを有する物流拠点であることが大きな要素であると考えております。

苫小牧市を中心とする東胆振圏では、車両の保有台数が年々拡大しており、特に苫小牧市の車両保有台数は10万台を超え、今後も増加することが予想されます。

今般、国土交通省から自動車のナンバープレートに地域名表示と地方版図柄入りナンバープレートを組み合わせた「地方版図柄入り新ナンバープレート（以下「新ナンバープレート」という。）」導入地域の募集が開始され、苫小牧市も単独での導入基準を満たしており、「新ナンバープレート」の導入は可能なものとなっております。

「新ナンバープレート」の導入は、これまでもましてシティセールスにも結びつくものであり、“走る広告塔”として当地域の名を全国に知らしめる絶好のファクターと捉えております。

このことは、当地の工業・流通都市として企業誘致に役立つだけでなく、観光客の誘因ともなり、今後の観光振興策にも大いに活用できるものであると考えます。

また、導入により地元企業等が広く周知されるのは、地元意識の向上にも有効な取り組みと考えており、地域振興にもつながるものと考えております。

つきましては、苫小牧地域にとって大きな飛躍につながる「新ナンバープレート」の導入について、苫小牧市として積極的に取り組んで頂きますようお願いいたします。

平成29年 7月27日

苫小牧商工会 会頭

会頭 宮本 隆雄